

図書館だより



ストリーム



梅雨入りを感じさせる日々が続きます。季節は本格的な夏へと向かっているのです。図書館から見えるイチョウの葉も深みを増し、堂々とした風情になりました。生徒の皆さんも新しい環境に根を下ろし、落ち着いてきたころかと思います。

今年度第1回定期考査、思うような結果は得られましたか？1年生にとっては高校で初めて体験した定期考査。3年生にとっては進路選択目前の考査。2年生だって“中だるみ”なんて言っているかもしれません。考査の前後で大きく成長できるよう、自分の学習の仕方を点検してみましょう。

☆受験勉強を始めた（始めたい！）あなたにおススメの1冊
『受験脳の作り方—脳科学で考える効率的学習法—』

著者：池谷裕二 東京大学薬学部教授。

内容：「海馬」は記憶を司る部位。だが、脳は蓄えるよりも忘れていくほうが多いのだ。試験前に徹夜で詰め込んだ記憶は、呆気なく消えていく。しかし、興味があるものはすぐに覚えられ、**バイオリズムのタイミングをつかめば、記憶効率は上がる。**—海馬、扁桃体、LTP等々、脳の働きを正しく理解して、恐れず受験に挑む！気鋭の脳研究者が考える学習法。（「BOOK」データベースより）

「鉄は熱いうちに打て！」と言います。考査後の今が、チャンスだ。



☆疲れた心を休めたいあなたにおススメの1冊
『月の砂漠をさばさばと』



作者：北村薫 89年、「覆面作家」として『空飛ぶ馬』でデビュー。91年『夜の蟬』で日本推理作家協会賞を受賞。著作に『ニッポン硬貨の謎』（本格ミステリ大賞評論・研究部門受賞）『霧と雪』（直木賞受賞）などがある。

内容：9歳のさきちゃんと作家のお母さんは二人暮らし。毎日、とても大事に、楽しく積み重ねています。お母さんはふと思います。いつか大きくなった時、今日のことを思い出すかな。どんな時もあなたの味方、といってくれる眼差しに見守られて、**とても幸せ。**かつて自分が通った道をすこやかに歩いてくる娘と、共に生きる喜び、切なさ。やさしく美しいイラストで贈る、少女とお母さんの12の物語。（「BOOK」データベースより）

さばさばと、生きていきたいものですね！！



☆新書を読んで、社会を知ろう☆

新書は、専門家が自分の専門分野の入門書といった形で読みやすくまとめたものです。総合型入試では、新書を一冊丸ごと読んで課題に答えるという形式の出題が多く見られます。様々なテーマについて、社会で今話題になっていることや出来事の原因などを知ることができるので、大学入試でも取り上げられることが多いです。

「新書マップ」など新書専門の検索サイトもありますよ。 <https://shinshomap.info>

